

## 序

当教育研究所は、昭和59年度も恒例の事業として教育論文集の刊行を企画し、論説の部、実践記録の部、翻訳の部に分けて原稿募集をしましたところ、各学校の先生方から10編の原稿をお寄せいただきました。

本年は、10編のうち1編が論説、7編が実践記録、2編が翻訳となっています。論説の内容は、本市の英語指導主事助手が外国人として実感した日本の教育についての印象を寄稿したものであります。

実践記録の内容は、教科を始めとして、道徳教育、同和教育などの学校教育における課題に視点をあてた研究であり、新しい研究の方向がうかがえるものであります。

また、さらに社会教育施設・公民館での学習活動の実際の事例を公民館職員の方から寄せられたことにより今後の公民館運営上大いに参考になるものと思います。

翻訳の部は、「子育ての6つのアプローチ」と「生涯教育の目ざすもの」の2編であります。いずれも今日的な問題に焦点をあてたものであり私たちに大いに示唆を与えてくれるものであります。

いずれの論文も、最近の教育思潮を的確に把握しながら、学校ぐるみで研究したものをはじめ、若い先生方の組織的・継続的な研究実践が多く見受けられます。

したがって、ここに示された貴重な教育論文を、今後とも、各学校における日々の教育実践に十分生かされ、本市教育の発展に寄与されることを期待します。

終わりに、論文をお寄せくださった学校の先生方をはじめ、関係者の方々にお礼申し上げるとともに、みなさまのますますの御活躍を祈念して序といたします。

昭和60年3月

足利市立教育研究所長

山 崎 政 三